

インドシナ半島を西進する熱帯低気圧の循環について

Circulation of tropical cyclones moving westward over the Indochina

里村 雄彦 [1]; 杉埜 水脈 [2]

Takehiko Satomura[1]; Mio Sugino[2]

[1] 京大・理・地球惑星; [2] 京大・理・地物

[1] Earth and Planetary Sci., Kyoto Univ.; [2] Earth and Planetary, Kyoto Univ.

JRA25 と気象庁台風ベストトラックデータをもちい、インドシナ半島を西進する熱帯低気圧の内、減衰の弱いものに焦点を当てて、その特徴や上陸後の減衰が弱い理由を調べた。

まず、JRA25 から相対渦度を計算し、インドシナ半島に上陸・西進する台風の渦度時間変化を求めたところ、同程度の渦度を持った他の熱帯低気圧に比べて顕著に減衰が弱いものを見つけることができた。これらの分類を試みたところ、多くが広範な低気圧性循環を持つことが分かった。

次に、8月と10月に上陸した熱帯低気圧について、減衰の弱いものとそうでないものをそれぞれ1例ずつ取り上げ、特徴の比較を行った。その結果、減衰の弱い8月のUSAGIでは、広範囲から水蒸気を運び込むと共に、既に水蒸気が多量に存在していた半島北西部へ進んでいた。この北西部の水蒸気はベンガル湾北部のトラフから供給されている。減衰の弱い10月のLOLAでは、半島内部まで大きな水蒸気フラックスをもつと同時に、半島南部を通過する際にタイランド湾から多量の水蒸気の供給を受けている。8月と10月の通常の減衰をおこした熱帯低気圧では、多量の水蒸気存在や広範囲の水蒸気フラックスの存在も無かった。